



泰阜村田本老人クラブが行つたサマーキャンプでは子どもたちが「わらそり」づくりに挑戦

横浜市

- 都筑区、鶴見区、戸塚区、中区、西区、緑区の各老連
神戸市中央区老連へ「友愛の手紙」を送付。緑区老連は100通以上の手紙を送付。この「友愛の手紙」交流活動を区老連機関誌に掲載し会員に配布した。また中区老連では、被災地から返信された手紙を区老連機関誌に掲載して会員に報告した。西区老連では、全単位クラブに返信のコピーを配布した。



手づくり人形を作製中の花見川区老連女性部と美浜区老連の手づくりの品々

川崎市

- 川崎市老連
神戸市兵庫区老連へ「友愛の手紙」を送付。



手づくり人形を作製中の花見川区老連女性部と美浜区老連の手づくりの品々

長野県

- 軽井沢町老連
区や教会に協力し、新聞の折り込み広告などの呼び掛けに応じて集まった義援金、テレホンカード、自転車、ウエットティッシュ、おもちゃ、タオル、衣類、紙おむつ、洗剤などの救援物資を平成7年1月31日、神戸市社会委員会に送り届け、さらに三宮の避難所を代表6名で訪問した。
- 上松町老連
宝塚市老連へ「友愛の手紙」を送付。
- 泰阜村田本老人クラブ
ボランティアとして現地へ行った上松町役場職員と木曾消防署代表者の体験談をスライドを交えて聞き、災害に対する認識を深めた。
- 素木村田本老人クラブ
平成7年7月24日、被災した西宮市神原小学校の生徒17人を、4泊5日のサマー・キャンプに招待。子どもたちと「わらそり」を作ったり、五平餅を焼いての交流会を楽しんだ。

長野県 被災した体験を生かして ボランティア活動

女性部有志が 「でんしょはどの会」を発足

- 長野県長野市老連
平成7年1月8日、第27回上松町老連

- 甲府市老連、武川村老連
兵庫県老連へ「友愛の手紙」を送付。
- 山梨市老連
宝塚市老連へ「友愛の手紙」を送付。
- 長野県西部地盤による震災体験をもつ長野県民からあがり、月1回の割合で村社協が中心となり、継続的な被災地訪問を実施。これに協力して、王道村老人クラブでは、会員が被災地を訪れ、炊き出しや物資配給などのボランティア活動を行った。また、女性部が中心となって神戸市・尼崎市・西宮市の老人ホームを訪ね、信州そばや五平餅の出前、音楽や踊りを披露して入所者を励ました。参加者からは「入所者と同じ世代の高齢者が訪問したことでの通じ合えるものがかった」「他人にあたたかい手を差し延べることが自分の心を支え、喜びとなって返ってくることを体験した。この体験を今後の活動にも生かしたい」などの感想が聞かれた。

- 東京都
平成7年2月9日に市老連女性部長会を開催し、被災地に何ができるかを話し合った。
- 千葉県
そして、2月13日に「お手紙運動のお説い」について長野市内26地区の女性部長に通知し、4月11日には110通の手紙を伊丹市老連に送った。
- 埼玉県
5月には女性部会員の志が集まり心の応援の手紙を書く「でんしょばとの会」を発足した。
- 神奈川県
伊丹市老連に届けられた手紙は、185通にのぼり、現在でも個人的な文通が続けられている。
- 三鷹市
月刊「福寿会の友」256号として、「友愛の手紙集」を平成8年1月に発行。

神奈川県

- 箱根町老連
西宮市老連へ「友愛の手紙」を送付。



埼玉県

- 市川市老連
日用品・食料品などの配給支援。
- 大里村老連
資財の送付。

- 稻毛区老連
平成7年10月、帽子、靴下、ハジガー、マスクコット人形、袋物などを手紙とともに送付。また、平成8年11月、女性部が中心となって石鹼、タオル、衣類、食品、手づくり品などを送った。
- 花見川区老連女性部
平成7年5月～7月と平成8年1月～2月に、ピーナツのお菓子、手づくり人形、毛糸編みクッションなどを手紙とともに送付。また、平成8年6月～7月と平成9年1月に、神戸市仮設住宅入居高齢者や北淡町老人会宛に、千葉産海苔やアクリルたわし、手編み作品などを送った。おれの手紙とともに北淡畠教育委員会癡行の地震に関する資料と冊子「あの日を忘れない」とビデオテープが届けられた。こうした品々を各単位クラブへ回覧したところ、被災者の心境を思い、涙が止まらないといった声が多く聞かれた。

千葉県

- 市原市老連
神戸市灘区老連へ寄せ書きと手紙を送付した。
- 千葉市
女性部を中心として、各区老連から順次、兵庫県老連、神戸市老連へ送った寄贈品は、大きなタンボール箱で31箱、手紙は640通を数えた。被災地からのお礼の返事が届くごとに心の交流が深まり、地区ごと、または個人で文通が続いている。